

チャペル週報

No.20

2014.10.27～11.7

イエスは言われた。

「心をつくし、精神をつくし、思いをつくして、
あなたの神である主を愛しなさい。そして、
隣人を自分のように愛しなさい。」

(マタイによる福音書22章37～39節)



中央講堂ロビー ステンドグラス

関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05

場所 各学部チャペル

- 10月27日(月) 神 Ruth M. Grubel (院長)
 人 上ヶ原ハビタット (RIN)
 聖 小 西 砂千夫 (人間福祉学部教授)
 和 聖書物語 つみをゆるす力・たねまきのたとえ・からしだねのたとえ
 理 前 川 裕 (宗教主事)
 神 土 門 稔 (神学研究科M2)
- 10月28日(火) 文 音楽チャペル バロックアンサンブル
 社 岩手県野田村を訪れて 社会学部震災ボランティア参加学生
 法 栗 林 輝 夫 (宗教主事)
 経 舟 木 謙 (宗教主事)
 商 東日本震災学生ボランティア報告(2) ヒューマンサービスセンター
 国 音楽チャペル 聖歌隊
 聖 バイブオルガンコンサート
 和 くら フィリピンの子供と一緒に歩む学生団体
- 10月29日(水) 神 牛 田 匡 (神学研究科M1)
 社 秋の音楽チャペル② ゴスペルクワイアP.O.V.
 法 English Chapel Christian Morimoto Hermansen (宣教師)
 経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)
 商 山 本 俊 正 (宗教主事)
 人 嶺 重 淑 (宗教主事)
 国 宗教改革をおぼえて 平 林 孝 裕 (宗教主事)
 聖 田 淵 結 (教育学部宗教主事)
 和 前 川 裕 (宗教主事)
 理 Eco-Habitat 関西学院
 総
- 10月30日(木) 神 岩 野 祐 介 (神学部准教授)
 社 上ヶ原ハビタットによるチャペル
 文 人権を考えるチャペル:怒りと哀しみのわかちあい 堀江有里 (社会学部講師)
 法 音楽チャペル バロックアンサンブル
 経 上ヶ原ハビタット (GV)
 商 瀬 見 博 (商学部教授)
 国 楠 綾 子 (国際学部准教授)
 聖 校歌「空の翼」を歌おう 関西学院グリークラブ
 和 村 瀬 義 史 (宗教主事)
 理 総
- 10月31日(金) 聖 保育園実習を終えて
- 11月3日(月) 聖 聖書物語 しずまったあらし・パンがふえる・波の上のひとかけ
- 11月5日(水) 神 柳 本 伸 良 (神学研究科M2)
 社 「友だち」について① 打 樋 啓 史 (宗教主事)
 法 Christian Morimoto Hermansen (宣教師)
 経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)
 商 音楽チャペル 聖歌隊
 人 住 野 公 平 (人間福祉学部職員)
 国 学生活動報告 上ヶ原ハビタット
 聖 田 淵 結 (教育学部宗教主事)
 和 前 川 裕 (宗教主事)
 理 村 瀬 義 史 (宗教主事)
 総
- 11月6日(木) 神 〈留学報告〉伊 藤 遥 香 (神学部3年)
 文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
 社 宗教総部によるスチューデントチャペル
 法 ボランティア活動の励み 杉浦 健 (ヒューマンサービスセンター コーディネーター)
 経 音楽チャペル ハンドベルクワイア
 商 音楽チャペル ゴスペルクワイアP.O.V.
 国 English Chapel Gary Okihiro (Professor, Columbia University)
 聖 「子ども虐待防止オレンジリボン運動」に協力して
 優しい微笑みが子どもを守る 波 田 瑩 美 治 (聖和短期大学准教授)
 総 細 谷 健 二 郎 (総合政策学部職員)
 和
- 11月7日(金) 院 関西学院グリークラブ
 神 陣 内 大 蔵 (日本基督教団東美教会牧師)
 文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)
 経 舟 木 謙 (宗教主事)
 人 音楽チャペル バロックアンサンブル
 聖 幼稚園実習を終えて 長 澤 しおり (保2) 田 代 紫 穂 梨 (保2)
 理 前 川 裕 (宗教主事)

◇ランバス早天 祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂 (上ヶ原)
 11月7日(金) 経済学部のために 利 光 強 (学部長)

死者の月に想う

打 樋 啓 史

キリスト教の暦では11月は「死者の月」。この暦を最初に用いたカトリック教会では、11月1日の「諸聖人の日」(All Saints' Day)にすべての聖人と殉教者が記念され、その翌日11月2日の「死者の日」(All Souls' Day)には世を去ったすべての信者のために祈りが捧げられる。日本のプロテスタント教会では、11月の第1日曜日「聖徒の日」とされ、教会ごとに逝去者記念礼拝が守られ、皆で教会の墓地にお墓参りをすることも多い。

また、10月31日のハロウィンは、もともと古代ケルト民族が死者との交流による新しい生命力の回復を願った土着の祭りであったが、ケルト民族がキリスト教化されてからは「諸聖人の日」の前夜祭として残ったものである。カボチャをくりぬいたお化けのちょうちんを作るなどの習慣は、これが死者に関わる祭であることに由来する。日本ですっかりおなじみのハロウィンも、実はキリスト教の「死者の月」と関連するものなのだ。

これら死者の月のキリスト教行事では、生者と死者の交流がテーマとなる。生者は死者を記念するなかで、愛する人々が世を去った今も神の永遠の命のなかで共にいることを信じ、慰めを与えられる。日本で8月に祝われるお盆は祖先の霊が帰ってくるのを迎える行事だが、キリスト教の「死者の月」の行事はある意味でお盆とも共通性をもつと言えよう。

さて、このような死者に思いを向ける季節に、私たち生者は普段忘れがちな大切なことに気づくことができるのではないか。それは、今ここでの日々がいつまでも続くものではなく、私たちもいつか必ずこの世での生を終える時がくるということ。その限りある日々を、この私は何を大切にして、どのように生きていくのか。死者を憶えることを通して、私たちはそのような本質的な問いに向き合うことになるのだろう。

さらにこの季節は、「死者の視点」で自分自身とこの世界を眺める機会にもなる。人生の道を歩き終えた人々の視点からその途上にいる自分を眺めると、自分が何でも分かっているかのような傲慢は戒められ、目の前のことが世界のすべてであるかのように切羽詰まった感覚は和らげられる。そこからこそ、もっと謙虚に、もっと大らかに、人生の道を歩み出すことができるのではないか。この学院に連なる私たちが、死者の月を過ごすなかで、少しでも自分の心の眼を死者の視点に重ねることができればと願う。

(社会学部宗教主事)

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アブロースタワー 14 階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを実施しています。(17:50～18:20 1405 教室)

10月主題：「関西学院創立 125 周年を覚えて」

10/30 (木) 山本俊正 (院長補佐)

11月主題「【祈り】について」

11/6 (木) 舟 木 謙 (大学宗教主事)

11/13 (木) Jeffrey Mensendiek (宗教センター宗教主事)

11/20 (木) 田 淵 結 (宗教総主事)

11/27 (木) Jeffrey Mensendiek (宗教センター宗教主事)

●夕べの祈り at ランパス～テゼの音楽とともに～

ろうそくの光を灯して、テゼの歌を歌いながら、皆でこころ静かに過ごす夕べの祈りのひととき。秋学期は以下の3回行ないます。どなたでもご参加ください。

第2回 11月6日(木) 18:30～20:00

第3回 1月8日(木) 18:30～20:00

ところ：ランパス記念礼拝堂(上ヶ原)

主 催：夕べの祈り準備会(学生有志)

協 力：関西学院宗教活動委員会

●2014年度大学主催秋季人権問題講演会の開催について

総合テーマ：Culture of Human Rights — 人権文化を育む (2010年度～2014年度)

1. 映画上映「SAYAMA: みえない手錠をはずすまで」

上映日時・場所：

11月10日(月)①10:35～12:40

会場：神戸三田キャンパス II号館102号教室

11月11日(火)②11:10～13:10、③13:30～15:30

会場：西宮上ヶ原キャンパス 関西学院会館「風の間」

11月12日(水)④10:35～12:40

会場：西宮聖和キャンパス 6号館611教室

11月13日(木)⑤10:35～12:40

会場：西宮聖和キャンパス メアリー・イザベラ・ランパスチャペル

11月13日(木)⑥15:10～16:40

会場：西宮聖和キャンパス 6号館631教室

(⑥は上記④⑤で2時間目に離席した人のため、上映15分経過後から放映する)

*各回とも、さやま事件の説明時にはパソコンテイクを、映画放映中は字幕を投影します。

<パネル展示>

○「さやま事件」とは(パネル30枚)

11月4日(火)～14日(金)

・西宮上ヶ原キャンパス 図書館エントランスホール

・西宮聖和キャンパス メアリー・イザベラ・ランパスチャペルの入り口 2か所

●ランパスチャペルアワー

学生たちが企画するチャペルです。秋学期の予定は以下のとおりです。

11月18日(火)ルーテル教会の礼拝

ランパス記念礼拝堂(上ヶ原)にて10:35～11:05

●リトリート at 千刈 ～テゼ共同体のブラザーを迎えて～

フランスのテゼ共同体からブラザー・ギランを講師に迎えて、1泊2日のリトリート(修養会・黙想会)を開催します。一日数回のテゼの音楽を用いた共同の祈りを中心に、ブラザーのお話、グループでの話し合い、個々の黙想の時間などを通して、それぞれが命を深呼吸させる日々。関西学院が大切にしてきた建学のスピリットに、体験的にふれる機会です。ぜひご参加ください。

と き：11月29日(土)～30日(日)

と ころ：関西学院千刈キャンプ

主 催：関西学院宗教活動委員会

申込み・問合せ：宗教センター(吉岡記念館事務室)